

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_追補版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ピナガーデンズB1-2地区新築工事	階数	地上12F
建設地	神奈川県海老名市めぐみ町512番の4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、集会所、ホテル、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年10月20日
敷地面積	2,116 m <sup>2</sup>	作成者	高松建設株式会社 東京本店 一級建築士事務所
建築面積	1,442 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月20日
延床面積	9,802 m <sup>2</sup>	確認者	高松建設株式会社 東京本店 一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	276 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
③上記+②以外の	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
④上記+	92 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 2.9

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.1
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 2.9

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.1
効率的運用	3.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.7
汚染物質回避	3.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	3.7
地域環境への配慮	2.5
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	特に無し。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	特に無し。	Q2 サービス性能 建物の天井高さ、階高さを十分に確保した計画。
LR1 エネルギー	特に無し。	LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料の使用回避として、ODP、GWPが低い発泡剤を採用している。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される